

令和7年度
文部科学省 日本語教師養成・研修推進拠点整備事業
【九州・沖縄ブロック】

成果報告書

公立大学法人 福岡女子大学

1. 本事業の概要

事業の趣旨

九州・沖縄地域の日本語教師養成課程を有する大学・大学院、日本語学校、日本語教師養成機関、自治体、産業界等の連携によるネットワークを構築し、日本語教育を取り巻く新たな制度や社会的要請に対応するための知識や情報を共有する。また、地域が抱える課題やニーズを踏まえ、日本語教師の養成と研修を一体的に推進することにより、地域の日本語教育を担う高度な専門人材の育成を図る。

【必須の取組1】連絡協議会（日本語教師養成コンソーシアム九州・沖縄）の運営

- ・加盟機関同士の情報交換・課題共有の場の設定、協力体制の整備
- ・ホームページを通じた最新情報の共有
- ・日本語教師養成に関する人的・物的リソースのデータベース構築

【必須の取組2】日本語教師教育者に向けた研修及び意見交換会の実施

- ・「日本語教師教育者のための研修部会」の設置・運営
- ・日本語教師教育者向け研修の実施

【必須の取組3】地域が求める日本語教師育成を目指したニーズ調査

- ・「地域が求める日本語教師育成のための調査部会」の設置・運営
- ・地域が求める日本語教師像の把握、各地域の好事例の共有
- ・調査結果の教員養成カリキュラムへの反映の検討

【その他取組1】日本語教育にかかるインターンシップ及び就職支援プログラムの開発

- ・「日本語教師を目指す人のためのキャリアサポート部会」の設置・運営
- ・日本語教師志望者向け就職支援プログラムの開発、日本語教師養成課程の大学生交流会の実施
- ・日本語教育の知識を持つ学校教員・自治体職員の育成支援プログラムの開発
- ・日本語教師のキャリアについて考えるセミナーの企画・実施

【その他取組2】域内の初任日本語教師の連携体制の構築

- ・「九州・沖縄の日本語教育を支える若手日本語教師連携部会」の設置・運営
- ・初任日本語教師の連携体制の構築、ネットワーク拡大
- ・初任日本語教師が抱える課題の共有・発信方法の検討、研修・研鑽の場の企画
- ・養成課程学生向けの仕事紹介などキャリア支援企画の検討



日本語教師養成コンソーシアム九州・沖縄
総会

拠点校：福岡女子大学

事務局

福岡女子大学地域連携センター

福岡・佐賀 地区	長崎 地区	大分・熊本 地区	宮崎・鹿児島 地区	沖縄 地区
<ul style="list-style-type: none"> 福岡女子大学 筑紫女学園大学 福岡女学院大学 九州大学大学院 	<ul style="list-style-type: none"> 長崎大学 長崎外国語大学 長崎純心大学 鎮西学院大学 	<ul style="list-style-type: none"> 別府大学 熊本学園大学 	<ul style="list-style-type: none"> 鹿児島純心大学 鹿児島国際大学 	<ul style="list-style-type: none"> 名桜大学 琉球大学 沖縄大学
<ul style="list-style-type: none"> 福岡日本語学校 九州英数学館 福岡日本語学校 アジア日本語学院 専修学校久留米ゼミナール 株式会社グローバルウィザス 	<ul style="list-style-type: none"> あさひ日本語学校 	<ul style="list-style-type: none"> 湖東カレッジ 	<ul style="list-style-type: none"> 宮崎情報ビジネス 専門学校 	
<ul style="list-style-type: none"> 福岡県企画・地域振興部 国際政策課 	<ul style="list-style-type: none"> 長崎県文化観光 国際部国際課 			
<ul style="list-style-type: none"> (公財)福岡県国際交流センター (公財)佐賀県国際交流協会 (一財)日本国際協力センター JICE九州支所 (一社) FCC GROOVE NPO多文化共生プロジェクト 	<ul style="list-style-type: none"> 合同会社pordo 			

九州日本語教育連絡協議会（九日連）

日本語教師教育者のための
研修部会

地域が求める
日本語教師育成のための
調査部会

日本語教師を
目指す人のための
キャリアサポート部会

九州・沖縄の
日本語教育を支える
若手日本語教師連携部会

事業評価委員会

2. 令和7年度事業報告（協議会・部会別）

<p>連絡協議会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語教師養成コンソーシアム九州・沖縄（CJTT九州・沖縄）の運営 ・コンソーシアムの拡大、周知 ・福岡・佐賀地区協議会（CJTT福岡・佐賀）の開催 ・広報事業（ウェブサイトによる広報、他研究会等での発表、プレスリリース等）
<p>日本語教師教育者のための研修部会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・オンラインセミナーA「生成AI活用講座 ～生成AIに触れる！ 使う！ 働かせる！」（全3回） ・オンラインセミナーB「日本語教育の参照枠」とこれからの日本語教師養成」（全3回） ・オンラインセミナーC「日本語学校の採用・研修担当者とする日本語教育の未来」（全2回） ・日本語教師研修会 2025 in 熊本「九州・沖縄発 多様な日本語教育の道 —私たちの歩みと未来—」
<p>地域が求める日本語教師育成のための調査部会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自治体、国際交流協会等に対するヒアリング調査 ・外国人材を積極的に採用している福岡県内の企業および技能実習監理組合（計12団体）に対するヒアリング調査 ・中間報告会（「福岡における外国人就労と日本語教育の未来」）
<p>日本語教師を目指す人のためのキャリアサポート部会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「日本語教育を学ぶ大学生の交流会 大学生×日本語教師養成」 ・オンライン・対面併用研修「学校教員を目指す人のための日本語教育基礎講座 —外国ルーツの子供の教育と支援—」（全7回） ・オンラインシンポジウム「自治体による日本語教育を支える仕組みと連携」 ・オンラインセミナー「日本語教師の「働きがい」とキャリア—九州・沖縄の現場アンケートから見えた課題と展望—」 ・日本語学校フォーラム2025 「日本語学校のこれからのを考える—認定制度の時代に問われる日本語教員のキャリアと働き方—」
<p>九州・沖縄の日本語教育を支える若手日本語教師連携部会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・若手日本語教師のひ・み・つ会議 in 福岡

各イベントの報告は次頁以降

2. 令和7年度事業報告（セミナー・交流型研修会一覧）

開催日	セミナー・イベント名	会場	担当	参加者
R7.5.18	日本語教育を学ぶ大学生の交流会 「大学生×日本語教員養成」	九州大学	キャリア部会	115名
R7.6.21 ～ R7.12.6	学校教員を目指す人のための日本語教育基礎講座 「外国ルーツの子供の教育と支援」（全7回）	福岡女子大学 福岡教育大学 オンライン	キャリア部会	約120名（延べ）
R7.8.23 ～ R7.9.13	オンラインセミナーA「これからの日本語教育に向けて 生成AI活用講座—生成AIに触れる！使う！働かせる！—」（全3回）	オンライン	研修部会	①34名 ②29名 ③26名
R7.8.30	日本語教師研修会2025 in 熊本「九州・沖縄発 多様な日本語教育の道—私たちの歩みと未来—」	熊本学園大学	研修部会	123名（対面43、 オンライン80）
R7.9.22	オンラインシンポジウム「自治体による日本語教育を支える仕組みと連携—日本語教師の役割に焦点をあてて—」	オンライン	研修部会	36名
R7.10.25 ～ R8.1.12	オンラインセミナーB「「日本語教育の参照枠」とこれからの日本語教育」（全3回）	オンライン	研修部会	①28名 ②17名 ③15名
R7.12.20	若手日本語教師のひ・み・つ会議 in 福岡 ～はじめの一步、みんなでつながろう～	九州英数学館 国際言語学院	若手部会	14名
R7.12.26	オンラインセミナーC（全2回）「日本語学校の採用・研修担当者と考える日本語教育の未来—長い目で焦らず育てるための第一歩—」	オンライン、 オンデマンド 配信	研修部会	17名
R8.1.10	オンラインセミナー 「日本語教師の「働きがい」とキャリアを考える」	オンライン	キャリア部会	30名
R.8.1.31	福岡・佐賀協議会オンライン配信 「福岡における外国人就労と日本語教育の未来」	福岡女子大学 オンライン	調査部会	52名（うちオン ライン26名）
R8.1.31	第2回CJTJ日本語学校フォーラム「日本語学校のこれからのを考える—認定制度の時代に問われる日本語教員のキャリアと働き方—」	福岡女子大学	キャリア部会	69名

2. 令和7年度事業報告（オンラインセミナー）

オンラインセミナーA（全3回）

「現職日本語教師のための生成AI活用講座—触れる／使う／働かせる—」

日時：令和7年8月23日、9月6日、9月13日

開催場所・方法：オンライン

- 内容：第1回「生成AIに触れる」（宮崎大学 伊藤健一氏）
第2回「生成AIを使う」（宮崎大学 伊藤健一氏）
第3回「生成AIに働かせる」（別府大学 篠崎大司氏）



オンラインセミナーB（全3回）

「『日本語教育の参照枠』とこれからの日本語教師養成」

日時：令和7年10月25日、11月8日、令和8年1月12日

開催場所・方法：オンライン

- 内容：第1回「『日本語教育の参照枠』の理念と背景について理解する 日本語教師養成のこれまでとこれから」（島根大学 佐藤智照氏）
第2回「事業者の観点から考える 就労分野における『日本語教育の参照枠』とこれからの日本語教師養成」（日本国際協力センター 長山和夫氏）
第3回「『日本語教育の参照枠と日本語教師養成での取組』」（筑波大学 澤田浩子氏）



オンラインセミナーC（全2回）

「日本語学校の採用・研修担当者と考える日本語教育の未来 —長い目で焦らず育てるための第一歩—」

日時：令和7年12月26日

開催場所・方法：オンライン・オンデマンド配信

- 内容：第1回「大学の教員養成課程の内容を知る① ～就活を迎える大学生の本音を探る～」（一般社団法人FCC GROOVE代表理事 横田秀策氏）
第2回「大学の教員養成課程の内容を知る② ～教員から見た養成課程と大学生～」（福岡女子大学 岩下真澄氏）



2. 令和7年度事業報告（養成課程学生・学校教員を目指す大学生）

日本語教育を学ぶ大学生の交流会「大学生×日本語教員養成」

日時：令和7年5月18日

開催場所・方法：九州大学西新プラザ・対面

内容：第1部 若手日本語教師の経験談

第2部 ミニ講義「これからのキャリアを考えるためのキーワード」（一般社団法人FCC GROOVE代表理事 横田秀策氏）

第3部 学生交流セッション（大学での学び、進路の悩み、将来像に関する意見交換）

参加大学：8大学115名（福岡女子大学、筑紫女学園大学、九州産業大学、福岡女学院大学、九州大学、西南学院大学、久留米大学、鹿児島国際大学）

学校教員を目指す人のための日本語教育基礎講座－外国ルーツの子供の教育と支援－

日時：令和7年6月～12月

開催場所・方法：福岡女子大学（第5回のみ福岡教育大学）・ハイブリッド

内容：第1回（6/21）日本語を母語としない人への日本語教育とは（筑紫女学園大学 鴈野恵氏）

第2回（7/12）外国ルーツの子どもの言語習得（福岡女子大学 吹原豊氏）

第3回（7/26）学校教科書のことば（福岡女子大学 橋本直幸氏）

第4回（9/27）学校内・教育委員会での支援（福岡市日本語サポートセンター・福岡市立博多中学校 原田徳子氏）
（福岡市立壱岐中学校 横山小織氏）

第5回（10/25）外国ルーツの子供を持つ保護者の視点（芸術文化観光専門職大学 姚瑶氏）

第6回（11/22）外国ルーツの子供をとりまく法律

（行政書士／NPO法人グローバルライフサポートセンター 山下ゆかり氏）

第7回（12/6）まとめ：日本語教育×学校教育のこれから（福岡女子大学 岩下真澄氏）



2. 令和7年度事業報告（日本語学校教員向け）

「若手日本語教師のひ・み・つ会議 in 福岡」

日時：令和7年12月20日

開催場所・方法：九州英数学館国際言語学院（福岡市）・対面

対象：日本語教師として就職後3年以内の方

内容：一日・一週間のスケジュールと業務の整理

日々の困りごとや悩みの共有

課題解決のためのディスカッション



オンラインセミナー「日本語学教師の「働きがい」とキャリアを考える」

日時：令和8年1月10日

開催場所・方法：オンライン

講師：一般社団法人FCC GROOVE代表理事 横田秀策 氏

内容：同地域で実施したアンケート結果（校長・主任・専任教員などへの働き方についてのアンケート）に基づく日本語教師の働きがいやキャリア形成に関する課題と展望について。

CJTT第2回日本語学校フォーラム「日本語学校のこれからを考える」

—認定制度の時代に問われる日本語教員のキャリアと働き方—

日時：令和8年1月30日

開催場所・方法：福岡女子大学地域連携センター

内容：第1部 「これからの日本語学校が果たすべき役割」

ゲートウェイ日本語学校校長・アトム国際外語学院校長 吉原一雄 氏

第2部 パネルディスカッション・全体ディスカッション

福岡市日本語教育施策アドバイザー 深江新太郎 氏（モデレーター）

あさひ日本語学校 福島一徳 氏

福岡日本語学校 小山朋恵 氏

九州測量専門学校 古閑華恋 氏



公立大学法人
福岡女子大学
FUKUOKA WOMEN'S UNIVERSITY

CJTT Kyushu
Okinawa
日本語教師養成コンソーシアム九州・沖縄



文部科学省

2. 令和7年度事業報告（日本語教師の多様なキャリア・生活者・就労）

「日本語教師研修会2025 in 熊本『多様な日本語教育の道—私たちの歩みと未来—』」

日時：令和7年8月30日

開催場所・方法：熊本学園大学・ハイブリッド

内容：第1部 パネルセッション

NPO法人外国から来た子ども支援ネットくまもと顧問 竹村朋子 氏

別府市立別府中央小学校日本語指導担当教員 立山愛 氏

熊本国際日本語学校 校長 前田和則 氏

合同会社pordo代表社員 和田一菜 氏

第2部 対面参加者によるラウンドテーブル

「自治体による日本語教育を支える仕組みと連携—日本語教師の役割に焦点をあてて—」

日時：令和7年9月22日

開催場所・方法：オンライン

内容：第1部 基調講演「社会的インフラとしての地域日本語教室」NPO多文化共生プロジェクト代表 深江新太郎 氏

第2部 事例紹介（1）自治体が支える地域日本語教育

佐賀県地域交流部多文化共生さが推進課 日本語コーディネーター 市丸佳代子 氏

事例紹介（2）市教育委員会が支える外国ルーツの子どもへの日本語教育

久留米市教育委員会学校教育課 中島瑠美 氏

第3部 相談会

CJTT福岡・佐賀地区協議会「福岡における外国人就労と日本語教育の未来」

日時：令和8年1月31日

開催場所・方法：福岡女子大学・ハイブリッド

内容：基調講演（1）「日本語教育施策の現状について」 文部科学省総合政策局 視学官 鴨志田暁弘 氏

基調講演（2）「就労現場の日本語教育」 一般社団法人日本国際協力センター九州支所 叶由紀子 氏

CJTT調査報告 「福岡県内の企業対象のヒアリング調査から明らかになったこと」福岡女子大学 吹原 豊 氏

3. 広報活動

(1) ホームページによる情報発信



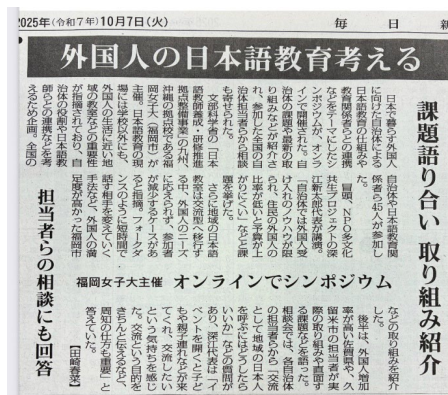
日本語教師養成・研修推進拠点整備事業【九州・沖縄ブロック】
日本語教師養成コンソーシアム九州・沖縄
 Kyushu Okinawa Consortium for Japanese Teacher Training

文部科学省「日本語教師養成・研修推進拠点整備事業」の委託を受け、福岡女子大学を拠点校として、九州・沖縄地域の日本語教師養成課程をもつ大学・大学院、日本語教師養成機関、日本語学校、自治体、国際文化交流協会、NPO等諸団、経済団体、教育委員会等をつなぐ「日本語教師養成コンソーシアム九州・沖縄（Kyushu Okinawa Consortium for Japanese Teacher Training九州・沖縄CJTT）」を組織します。

【HPコンテンツ】

- ・ 新着ニュース
- ・ CJTT/CJTT参加機関の研修・イベント
- ・ その他の研修・イベント
- ・ 本コンソーシアムの趣旨・目的
- ・ 加盟機関
- ・ 部会について
- ・ CJTT活動報告
- ・ 事業評価
- ・ 連載～九州・沖縄の日本語教育の現場～
- ・ 会員申し込み 他

(2) プレスリリースによるメディアへの掲載



(3) リーフレットの配布



公立大学法人
福岡女子大学
 FUKUOKA WOMEN'S UNIVERSITY



日本語教師養成コンソーシアム九州・沖縄



文部科学省

4. 成果と課題・今後の展開

成果

連携協議会	<ul style="list-style-type: none">・個人・機関レベルでのネットワーク構築と連携の促進・加盟機関内での課題共有と具体的協議の場の設定（CJTT福岡・佐賀地区協議会の開催）・初任日本語教師のネットワーク構築（若手部会の設置）・ホームページ、プレスリリース等による活動の周知
研修	<ul style="list-style-type: none">・養成担当者向けセミナーの実施・継続的な研修実施に向けた経験の蓄積
調査	<ul style="list-style-type: none">・地域（特に産業界）における日本語教育ニーズの把握と共有
キャリアサポート	<ul style="list-style-type: none">・養成課程の学生を対象とした意識向上の取組（大学生交流会）・日本語教師のキャリア意識向上・変革に資する取組の実施・日本語教育層以外への働きかけ（教員養成系大学の学生）

課題

- ・自治体・産業界等を巻き込んだネットワークのさらなる拡充
- ・課題解決に向けた具体的な連携体制の構築
- ・九州・沖縄全域での活動の活性化
- ・日本語教育層以外へのより積極的な働きかけ

今後の展開

①ネットワークの拡大、深化、継続に向けた取組

- ・より実質的な連携の場としての、県単位での協議会の開催。
- ・加盟機関の参加を拡大し、最終年度に向けて、九州・沖縄でのゆるやかなネットワークを構築。

②日本語教員養成・研修の担当教員に向けた取組

- ・地域の課題やニーズに即したセミナーの開催。
- ・日本語教師の「働き方」に目を向けた研修の実施。
- ・養成機関が連携した協力体制の構築。

③専門人材の就業に向けた取組

- ・大学を超えた大学生交流会の開催。
- ・養成課程の学生と日本語学校のマッチング。
- ・養成・採用担当者が大学生を知る機会の創出。

5. 令和7年度事業評価

事業評価委員（五十音順・敬称略）

- 伊東 祐郎 国際教養大学専門職大学院 特命教授
金子 史朗 友国際文化学院 校長
坂本 正 愛知国際学院相談役／南山大学・名古屋外国語大学名誉教授
長山 和夫 一般財団法人 日本国際協力センター（JICE）事務局 上席主幹

令和7年度事業評価の抜粋（詳細はホームページ掲載の事業評価報告書参照）

【評価できる点】

- (1) 加盟31団体への拡大による日本語教師養成ネットワークの強化
- (2) 多様な対象者への研修・交流事業の実施によるネットワーク形成
- (3) 大学生交流会の開催および若手日本語教師連携部会の設置による学生・若手人材支援
- (4) 生成AI活用や日本語教育の参照枠など社会的ニーズを踏まえた研修テーマの設定
- (5) JICEとの連携や企業ヒアリングを通じた就労分野の日本語教育への取組
- (6) Webサイト発信やメディア掲載による広報・情報発信の強化

【今後の課題・改善点】

- (1) アウトカム指標の設定による事業成果の可視化
- (2) 企業・自治体ヒアリング成果の整理による調査部会成果の体系化
- (3) 調査結果の研修等への反映による部会間連携の強化
- (4) 九州・沖縄全体への広がりを見据えた加盟機関の地域バランスの改善
- (5) 日本語教師養成リソースデータベースの早期構築・公開
- (6) 参加拡大と継続的支援モデル構築による若手日本語教師支援の拡充

事業評価の流れ

- 4月 事業活動計画の提出
（拠点校→評価委員）
- 5月～ 各種イベント・部会への出席
- 1月末 活動報告書の提出
（拠点校→評価委員）
- 2月 評価委員によるヒアリング
- 3月 評価シートの提出
（評価委員→拠点校）
- 3月 評価とりまとめ